



平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月12日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営統括室長 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	59,126	7.9	1,131	163.6	1,381	150.0	818	—
24年5月期第3四半期	54,818	0.8	429	△60.6	552	△61.3	△255	—

(注) 包括利益 25年5月期第3四半期 2,664百万円(461.5%) 24年5月期第3四半期 474百万円(△1.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	10.84	—
24年5月期第3四半期	△3.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第3四半期	76,209	31,323	37.1
24年5月期	76,663	29,049	34.2

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 28,250百万円 24年5月期 26,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年5月期	—	2.50	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	7.5	2,000	94.0	2,350	85.7	1,500	139.5	19.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年5月期3Q	76,821,626株	24年5月期	76,821,626株
② 期末自己株式数	25年5月期3Q	1,278,092株	24年5月期	1,275,413株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年5月期3Q	75,545,606株	24年5月期3Q	75,548,457株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(6) 重要な後発事象	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や円安進行による輸出環境の改善、また、新政権による経済政策への期待感から株価が上昇するなど、景気の先行きに明るさが見え始めました。一方海外では、米国が国内需要や雇用情勢の改善から景気の回復傾向にあるものの、欧州諸国は債務問題が依然として解消されておらず、景気停滞が続いております。

このようななか、当第3四半期における連結業績は、売上高591億26百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益11億31百万円（同163.6%増）、経常利益13億81百万円（同150.0%増）、四半期純利益8億18百万円（前年同期 四半期純損失2億55百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、大型物件の受注があり、また、発売2年目の循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」が高い評価を得て、好調な売れ行きとなったこと等から、売上高は前年同期を上回りました。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、個人消費が底堅い動きになってきているものの、雇用や所得環境の先行きに対する不安も依然として残っており、売上高は前年同期を下回りました。カーテンは、昨年7月発売の「Mode-S（モードエス）Vol.6」が安定的に推移し、「U-Life（ユーライフ）Vol.6」、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に売上高を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークII」がともに厳しい状況となり、前年同期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高245億9百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1億72百万円（前年同期 営業損失13百万円）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、カーペット事業、ファブリック事業ともにグローバル化の効果が大きく寄与し、第2四半期に引き続き増収増益となりました。カーペット事業では、国内は自動車販売におけるエコカー補助金の終了や中国向けの輸出車が減少したことが影響し、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。一方、海外では、米国とタイで売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。ファブリック事業においても、国内はカーペット事業と同様の傾向にあり、売上高は前年同期を下回りましたが、経費削減等が奏功し、営業利益は前年同期を上回りました。海外では、中国で昨年9月以降の日系自動車販売不振の影響により売上高が前年同期を下回りましたが、米国とタイでは日系自動車メーカーの生産増加を受け、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

車両関連では、新幹線シートのポリエステルクッション材の受注拡大、大手私鉄関係を中心としたリニューアル工事の受注があったため、売上高は前年同期と同水準となり、営業利益面では、営業活動の効率化をはじめとする経費節減により、前年同期を上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高311億29百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益17億37百万円（同53.6%増）となりました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは順調に推移したものの、売上高は前年同期をわずかに下回りました。タイルカーペットのOEM販売は、国内向けは低調となりましたが、輸出向けが大幅増となったため、売上高は増加しました。消臭関連では、一般家庭用空気清浄機向けフィルターが中国の大気汚染問題の影響もあり売上高を伸ばしました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高34億16百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益1億95百万円（同3.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億54百万円減少し762億9百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ27億28百万円減少し448億85百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ22億74百万円増加し313億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

新政権の経済政策による景気回復の兆しが見えてきておりますが、個人消費や雇用情勢はいまだに慎重な状況が続いております。海外では、米国経済が内需主導により回復傾向にあるものの、欧州債務問題の長期化や、中国をはじめとした新興国の経済成長の減速等があり、先行きを楽観視できる状況には至っておりません。

以上のような状況を踏まえ、平成25年5月期見通しは、平成24年7月13日に発表した通期業績予想（売上高810億円、営業利益20億円、経常利益23億50百万円、当期純利益15億円）のままといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,112	5,360
受取手形及び売掛金	20,442	20,198
有価証券	317	274
商品及び製品	7,682	8,153
仕掛品	1,769	1,578
原材料及び貯蔵品	1,794	2,279
その他	4,242	3,284
貸倒引当金	△33	△30
流動資産合計	43,327	41,100
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,332	18,321
その他(純額)	8,079	8,459
有形固定資産合計	26,411	26,781
無形固定資産	361	398
投資その他の資産		
その他	6,738	8,088
貸倒引当金	△175	△159
投資その他の資産合計	6,563	7,928
固定資産合計	33,335	35,108
資産合計	76,663	76,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,901	15,644
短期借入金	11,086	10,286
未払法人税等	253	110
その他	3,211	2,737
流動負債合計	31,452	28,778
固定負債		
長期借入金	5,347	5,096
退職給付引当金	3,648	3,767
役員退職慰労引当金	309	311
負ののれん	221	155
その他	6,633	6,776
固定負債合計	16,161	16,106
負債合計	47,614	44,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,146	7,587
自己株式	△330	△330
株主資本合計	19,022	19,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	1,262
繰延ヘッジ損益	△20	10
土地再評価差額金	7,867	7,867
為替換算調整勘定	△615	△353
その他の包括利益累計額合計	7,208	8,787
少数株主持分	2,817	3,072
純資産合計	29,049	31,323
負債純資産合計	76,663	76,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
売上高	54,818	59,126
売上原価	43,095	46,536
売上総利益	11,722	12,590
販売費及び一般管理費	11,293	11,459
営業利益	429	1,131
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	92	88
負ののれん償却額	66	66
不動産賃貸料	180	174
その他	156	236
営業外収益合計	512	580
営業外費用		
支払利息	181	199
不動産賃貸費用	41	36
持分法による投資損失	84	32
その他	81	61
営業外費用合計	388	329
経常利益	552	1,381
特別利益		
固定資産売却益	10	2
災害に伴う受取保険金	—	429
その他	—	1
特別利益合計	10	432
特別損失		
固定資産除売却損	18	24
投資有価証券評価損	60	—
災害による損失	257	346
その他	10	—
特別損失合計	347	371
税金等調整前四半期純利益	215	1,443
法人税、住民税及び事業税	117	279
法人税等調整額	399	143
法人税等合計	516	423
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△300	1,019
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△45	201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△255	818

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△300	1,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	380	1,285
繰延ヘッジ損益	35	30
土地再評価差額金	682	0
為替換算調整勘定	△321	330
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△1
その他の包括利益合計	775	1,645
四半期包括利益	474	2,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608	2,397
少数株主に係る四半期包括利益	△133	267

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,607	26,762	3,364	54,734	84	54,818	—	54,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	360	22	22	404	198	603	△603	—
計	24,967	26,784	3,386	55,138	283	55,421	△603	54,818
セグメント利益 又は損失(△)	△13	1,130	188	1,306	28	1,334	△904	429

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△904百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△907百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,509	31,129	3,416	59,055	70	59,126	—	59,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	339	4	27	371	201	572	△572	—
計	24,849	31,134	3,443	59,426	272	59,698	△572	59,126
セグメント利益	172	1,737	195	2,105	21	2,126	△994	1,131

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△994百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。